

「生徒が輝く 日本一の小規模校」を目指して
自立した社会人の基盤づくり～「夢」・「規律」・「感謝」～



平成26年度矢板市立泉中学校だより【第9号】

中学「い、ずみ」

■発行/平成26年8月26日(火)

年末までの4か月を大切に！

夏休みが明け、第1学期の後半が開始しました。今日の朝会での無言集合の様子・目の輝き等から、生徒一人一人にとって有意義な夏休みであったことが伺われます。

どの学年にとっても、今日8月26日(火)から12月までの約4ヶ月が大変重要です。

1年生：中学校生活にも慣れいよいよ自分の実力を発揮し始める時です。継続第1。

2年生：中学3年間のちょうど中間の期間。これまでの反省を踏まえ進路を考えたときに大切さが増す後半に向けたがんばりを開始する時です。また、部活動ではいよいよ主役、同時に下級生の手本ともなります。社会性の伸張が期待されます。

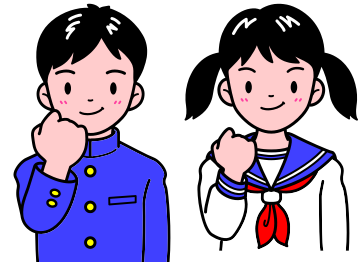
3年生：卒業後の進路を見据え全力を尽くす時期。高校進学を希望する生徒は、目指す高校を明確にしてそれに向けた一段の努力をする時です。

また、心のあり方として次の2つが重要です。

1つは、「ポジティブシンキング」。起こった事実は不変。それをどうとらえるかが、その後の行動や心身に大きな影響を与えます。

もう1つは、「主体性」です。親や先生のアドバイスを参考にして、自ら考え・自ら判断し・自ら積極的に正しく行動することです。失敗が許される学生時代に自ら多くの判断等を経験することは、大人になってからの大きな失敗を防ぐこととなります。もちろん、逃避せずに立ち向かっていく「強い意志」に基づく主体性も重要です。

これまで鍛えた「体」と「心」を基盤とし、これからの4ヶ月間を精一杯努力し自分を伸ばすことを期待しています。また保護者の皆様には、中学校では小学生時代とは質の異なる教育が求められることを御理解いただき、お子様の精神的自立のために少し距離を置き、自ら考え・自ら判断し・自ら積極的に正しく行動する社会人としての基盤づくりに御協力のほどよろしくお願いいたします。



本年度の重点目標＝心

学校だよりNo.1で掲載した本年度の本校の目標及びその解説を再度掲載します。学校の方針を御理解いただき御協力をよろしくお願いいたします。

基本目標	生徒一人一人のよさと可能性を生かし、自主性・創造性を培い、国際社会の中で、豊かな心をもって主体的に逞しく生きることができる生徒を育成する。	
仲間	具体目標	めざす生徒像
賢く	(頭)進んで学べる生徒	夢に向かって主体的に学ぶ生徒
優しく	(心)皆と仲良くできる生徒	規律を重んじ、感謝と思いやりの心を持ちながら生活する生徒
逞しく	(体)健康な体がつくれる生徒	心身ともに健康で最後までやり抜く生徒

今年度の本校の目標を上記のように設定しました。これは、本校の戦略である「体→心→頭」を受け、本年度の重点目標を「心」にあたる「皆と仲良くできる生徒」にしました。

そこで、合い言葉で使用していた3つのキーワードを

～「夢」・「努力(＝やり抜く)」・「感謝」～→～「夢」・「規律」・「感謝」～

として変更しその意識化を図りました。もちろん、基盤となる「体」の重要性は昨年度同様です。

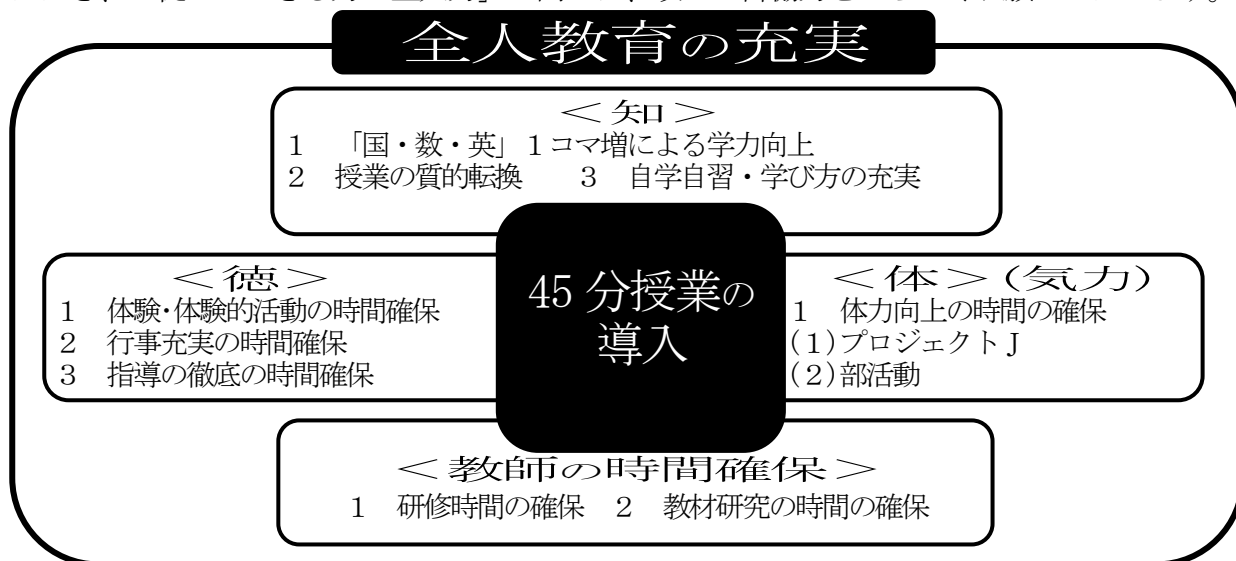
本校は昨年度同様45分×32コマを実施しており、他校より国数英が1コマ多くなっています。したがって、持久力向上・部活動等で鍛えている逞しい体に1ランク上の心の充実を図り、これまで以上に1時間1時間の学習に心を込めて取り組めば学力は自ずと向上します。保護者の皆様の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

これでは……



再掲：45分授業のねらい

45分授業については、学校だよりNo.1で掲載しましたが再度掲載します。本校で平成24年度の第2学期から導入したこのシステムのねらい等を御理解いただき、生徒の「生きる力＝全人力」の向上に、改めて御協力をよろしくお願ひいたします。



授業の1コマを50分ではなく45分とサイズを小さくすることや休み時間や清掃の時間等を見直すことでよりコンパクトな日課にし、スピード感ある1日とするとともに放課後の時間を活用します。これに清掃の時間の持ち方を工夫して7コマの日を2日設け、他校で通常行っている29コマの授業より3コマ多くした32コマとします。しかも、7コマの日でも平成24年度第1学期の50分×6コマ授業の終了時刻より早くなっています。もちろん、文部科学省で決められた年間の授業時間は確保した上でのことです。

増えた3コマは、「国・数・英」に割り当てそれぞれ1コマ増として学力向上を図っています。特に、国語では「生き方タイム」として学習指導要領で重視している言語活動の充実にて作文・論文・ディベート・インタビュー等の活動を実践し、「感情の言語化」と「相手に伝える力」を強化しています。これは、平成26年度の高校入試から始まった特色選抜で求められる能力の育成にもつながっています。同時に課題を工夫することで「生き方」を深める時間ともなっています。

さらに、学年1クラスとなる1年生と3年生では、クラスを2つに分けて授業を行う「少人数指導」を「数・英」で実施し、個に応じた指導の充実を目指しています。

さらに、小中一貫教育の実践項目となっている「めざせ！数検・英検・漢検3級合格」も実施しています。泉中を会場とした「団体受検」が可能となるよう、多くの生徒の受検を推進していきます。御家庭での御協力をよろしくお願ひします。締切は、受検の約1か月前です。校内掲示等に注意して締切に遅れないように声かけをお願いします。



道徳・人権コーナー No.4

学校における「道徳の指導」をざっくり説明すると、次の2つの指導となります。

1つは、行為や習慣を指導するものです。これを学校では「道徳的実践」の指導といいます。もう1つは、毎週1時間ある授業での指導です。これは、通常「道徳の時間」の指導といいます。したがって、以下ようになります。

道徳の指導＝①「道徳的実践」の指導＋②「道徳の時間」の指導

なお、平成27年度から実施が予想される「道徳の『特別の教科』化」は、「国語や社会とは別の枠組みとして現在実施している週1時間の『道徳の時間』の指導」を「国語や社会と同じような枠組みで実施」しようとするものです。

おめでとう！各種表彰・合格

- ◆第60回全日本中学校通信陸上競技大会栃木大会
＜共通男子＞800m 8位(2' 07" 45) 村上和寿
- ◆平成26年度栃木県中学校総合体育大会陸上の部
＜2年男子＞1,500m 2位(4' 17" 94) 村上和寿、3,000m 6位(9' 29" 51) 村上和寿

